



ひとまちふくおか

HITO MACHI FUKUOKA



photo:katsuhiko Yoshino

注目建築

NewSpot

「水・緑・そして動物たちとのふれあい」ができる「**HIBIKINADA CAMP BASE**」誕生
高さ制限の緩和により実現した111mの高さ「**福岡大名ガーデンシティ**」
太宰府天満宮「**仮殿**」

2023年度「新入社員研修」開催 建設業の舞台へ躍り出る74名!成長と変革の4日間!

協会ニュース ▶ 2023年度定時総会開催／第9回 福岡県木造・木質化建築賞 会員企業受賞

幼保連携型認定こども園 若草幼稚園／朝倉森林組合本所事務所

スクールウォッチ ▶ 福岡県立三池工業高等学校 社会基盤系 土木科

「水・緑・そして動物たちとのふれあい」ができる

「HIBIKINADA CAMP BASE」誕生

環境モデル都市宣言をしている北九州市の公園で最大を誇る響灘緑地グリーンパーク内にオートキャンプ場「HIBIKINADA CAMP BASE」が誕生した。



屋上展望テラスからの眺め

北九州市若松区にある響灘緑地グリーンパークには、熱帯生態園や100人が一同に乗れる世界最長のブランコ、化石の谷、大芝生広場などがあり、その敷地内にオートキャンプ施設がオープンした。手ぶらでもキャンプができるとあって、週末は予約ができないほどの人気

HIBIKINADA CAMP BASEの計画の考え方

末光弘和氏は、「北九州市は環境モデル都市を宣言していることもあり、環境への配慮を最優先に開発を進め、持続可能な開発目標(SDGs)の原則に基づいて設計コンセプトを練っていました。私たちの調査で、近くの貯水池周囲のヒノキ林が光が入らない状態で放置されていることが判明しました。そこで、ヒノキ林の健全性を保護する目的も同時に遂行できるよう、日光の入る角度などを計算し、木を厳選して間引き、プロジェクト内で再利用しようと計画しました」と語る。



ヒノキ林の間伐風景



鳥瞰。右手に敷地内のヒノキ林が見える



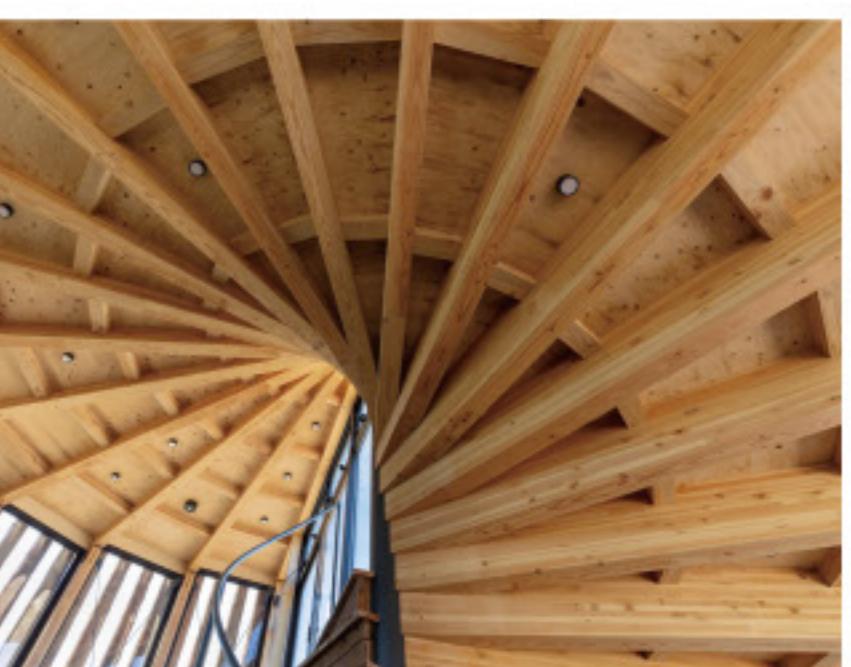
下から眺めるらせん階段の配列が美しい



建築に使用された丸太はそれぞれに表情や色合いが異なり、独特の魅力を醸し出している



キャンプ用品を置いている階段とゆとりある空間



管理棟天井見上げらせんの構造体が美しい

管理・展望棟の特徴とデザイン

「HIBIKINADA CAMP BASE」の管理棟は、環境配慮型の設計により、ユニークなデザインになっている。綿密に計算された長さの丸太の列柱が、外壁に渦を巻くように斜めに配置され、そこを歩くと展望可能な屋上テラスの中心まで吸い込まれていく。登りきると一気に見晴らしがよくなり、キャンプ場全体を一望することができる。夜になると空に浮かぶ星も眺めることができ、大自然を満喫する時間がゆっくりと流れる。

1階入口から、内部に入ると幅広のらせん階段が出迎え、外階段と同じく上へ向かって渦を巻いていた。下から天井を見上げると、なんとも貝殻の中に入っているかのような感覚になる。らせん階段のスペースには、ディスプレイのようにキャンプのレンタル用品などが置かれ、ちょっとしたミニコンサートなども開催できそうなゆとりある空間になっている。1階ではチェックインや飲食物の販売もしている。

建物を象徴する丸太とらせん構造の難しい施工

丸太の太い部分は、支柱としての機能だけでなく、構造上の役割も果たしており、同心円の寸法、高さ、方向は階段の測定値に基づいて決定された。このらせん構造の施工は難易度が高く、建物の中心にある鉄骨棟に金属プレートを取り付け、ガイドの役割を果たし、位置ずれを防ぐなどの対策をしている。また、凹凸のある丸太をしっかりと固定するのに不安があったが、実際は職人の腕により問題なく対応できた。



丸太の長さや太さなどを計算し設置された

オフグリッドコテージ



宇宙船のようなオフグリッドコテージ

ヒノキ林には九州大学の末光弘和研究室の学生らが設計に携わっているオフグリッドコテージも建築されるそうだ。このコテージには、ヒノキ林で伐採した丸太の細い部分を使用し、それに圧縮技術を施してきた木材を内装に組み込んでいく予定。外観がなんとも宇宙船のような未来を感じさせるデザインだ。屋根には太陽光パネルが設置されるのだと。

「HIBIKINADA CAMP BASE」の学生コテージ構想は、2021年春に開始された。計画の中心には九州大学の末光研究室があり、木材の圧縮技術を有する北九州市立大学とも連携しながら進められている。自然と建築物が融合した地産地消の解決や環境への配慮が特徴となっている産学連携のプロジェクトは、これからも目が離せない。

竣工写真撮影:中村絵(Kai Nakamura)

- 施設概要**
- 事業者:響灘アーバンアウトドアパートナーズ (株式会社福岡放送・株式会社オリエンタルコンサルタンツ)
 - 場所:北九州市若松区大字竹並1058-11
 - TEL:093-701-5575
 - 敷地面積:2,753,053.37m²
 - 管理等延床面積:127.75m²
 - サニタリー棟延床面積:60.70m²
 - 建築:末光弘和+末光陽子/SUEP、永瀬智基
 - ランドスケープ:株式会社オリエンタルコンサルタンツ
 - 建築施工:株式会社志道工務店

<末光弘和氏略歴>
1976年愛媛県生まれ。1999年東京大学建築学科卒業。2001年東京大学院修士課程修了。2001~06年伊東豊雄建築設計事務所。2007年より末光弘和+末光陽子/SUEP主宰。2009~11年横浜国立大学大学院Y-GSA設計助手。2020年~現在、九州大学大学院准教授。おもな受賞に第27回吉岡賞(2011年)、第29回芦原義信賞(2019年)、2018年度グッドデザイン賞金賞など。2022年に、東京と福岡にて「末光弘和+末光陽子 / SUEP., Harvest in Architecture 自然を受け入れた」を開催。地球環境をテーマに国内外で建築の設計活動を展開。



写真撮影:Masatomo MORIYAMA

高さ制限の緩和により実現した111mの高さ

「福岡大名ガーデンシティ」

天神大名にシンボリックな門を持つ高さ111m、25階建てのランドマークが誕生

新建築と明治時代の校舎が融合された空間と新たな賑わいを創出する。

天神ビッグバンの西のゲートに相応しい門のデザインがひときわ目を引くその建物は、福岡市が所有する旧大名小学校の跡地に建てられた。これは、積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社、西部瓦斯株式会社、株式会社西日本新聞社、福岡商事株式会社の5社で構成した大名プロジェクト特定目的会社が事業主となり、久米設計・醇建築設計共同企業体が設計監理、PDP London Architectsがデザイン監修に当たった。この施設の17階～24階に、世界的に有名なザ・リッツ・カールトン福岡が開業することも重なり、今、福岡のみならず、日本中から注目されている複合施設となっている。

施設のコンセプト「MEET SYNERGY 門をくぐって、次の福岡へ」に込められた思い

本施設が福岡市の新たな拠点として、新たに建設されている施設と協力し、アジアのリーダー都市にふさわしい街へと進化することを期待しこのコンセプトが作られたそうだ。

福岡大名ガーデンシティの敷地面積は約10,000m²。地下1階、地上25階の福岡大名ガーデンシティ・タワーと11階の福岡大名ガーデンシティ・テラス、そして福岡大名ガーデンシティ・パークで構成されている。元々ここは、明治6年に創設された福岡市で最古の

小学校、旧大名小学校(大名尋常小学校)があった場所。校舎やランドは明治時代から100年以上も人々に親しまれたこともあり、福岡市はこの場所を天神ビッグバンの中核プロジェクトと位置付け、これまで都心部開発の制約となっていた航空法の高さ制限を国家戦略特区により緩和し、この高さが実現した。さらに、ここ大名地域において、グローバルな人材とローカルで個性的なコミュニティが交流する拠点とすることを決め、新たな賑わい創出を目指している。

コロナ禍も開け、人々は街に繰り出した。歴史ある大名地区が、100年以上の時間を経て、新しい賑わいのグローバル拠点として、どんな顔を市民に見せていくのか期待は大きい。



「福岡大名ガーデンシティ」施設の特長

●シンボリックな門のデザイン

入口を門のデザインにすることで、エントランスの視認性を強化し、施設内に人の流れを引き込むデザインになっている。

●環境負荷への取組

屋上緑化・壁面緑化による建物熱負荷の低減、高性能ペアガラスによる低炭素化への取り組みを行っている。

●商業施設の床や壁に練り込んだグラウンドの砂

商業施設の床や壁には、大名小学校グラウンドの砂を練り込んだ左官材を採用し、地域の歴史や思いを継承している。

●自然換気と感染症対策

各階オフィスフロアにはカーテンウォール面に屋外の空気を取り込む自然換気システムを採用し、感染症対策も施している。

●高機能オフィスのセキュリティと防災拠点としての機能

ハイグレードオフィスに相応しいセキュリティゲートやQRコード認証による無人受付機能をオフィスロビーフロア3階に採用している。さらに、BCP対策として、認定をとった耐震性の高いガス管を採用し、大地震の際に停電となった場合でもガスを電気に変換できるコーチェネレーションシステムを取り入れ、安心・安全を市民に提供している。

●グローバルと地域交流ができる

福岡大名ガーデンシティ・パーク

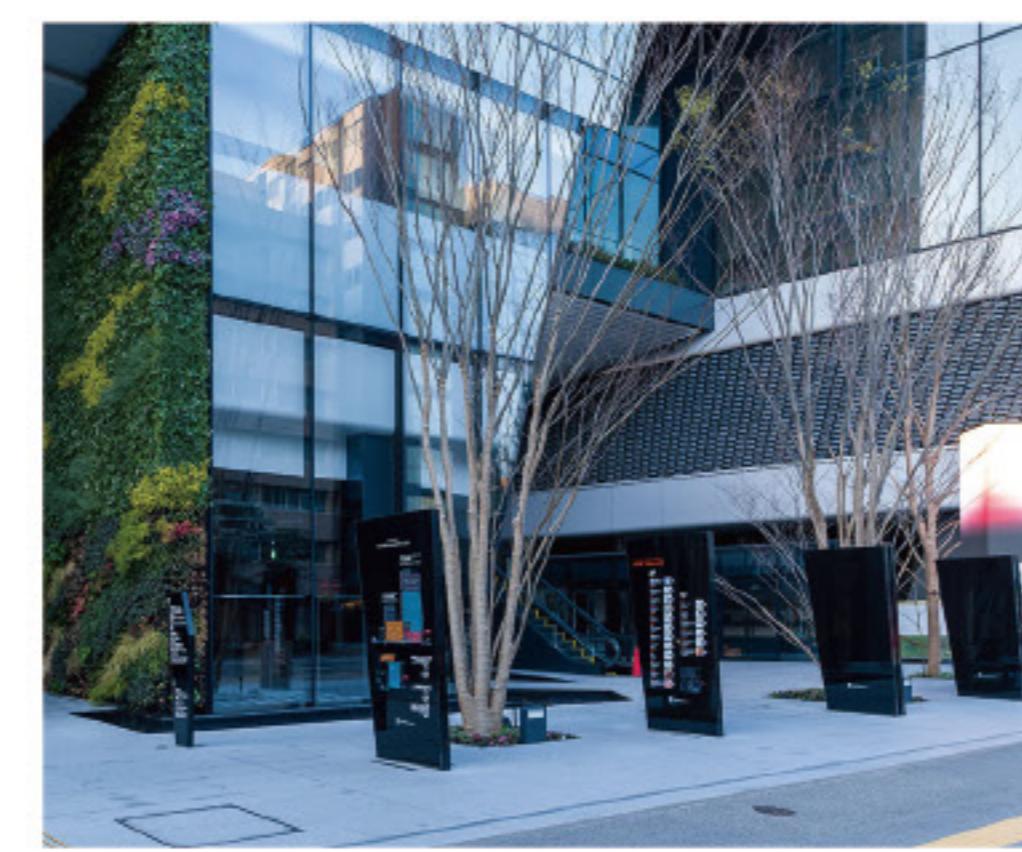
門をくぐると広さが約3,000m²ある福岡大名ガーデンシティ・パークに出る。そこに立ち施設を見渡すと、全面ガラス張りになっているカーテンウォールの外観に圧倒されるだけでなく、反対側にある明治時代の小学校校舎に懐かしさを感じ、なんとも時代の流れと技術の進歩を感じることができる。この広場を中心に緑あふれる空間には、ステージや6m×11mの大型ビジョンが設置され、パブリックビューイングや地元の祭り等が行われている。施設を利用するすべての人々が出会い、交流し、新たな時代のイノベーションやコミュニケーションの創出を期待してやまない。



世代や地域を越えた交流の場「福岡大名ガーデンシティ・パーク」



パークの東側にステージ、南側(右)に旧大名小学校校舎

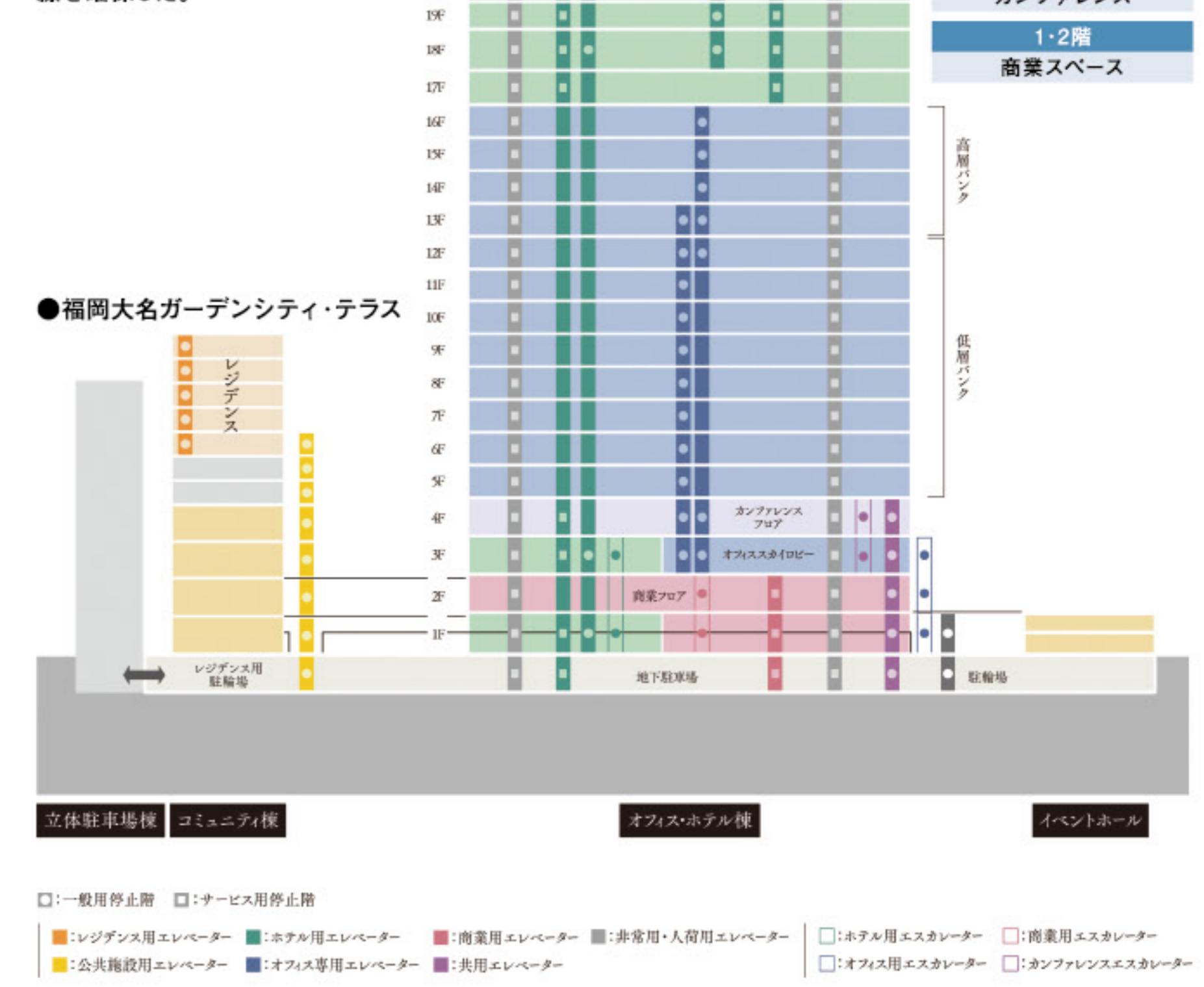


北側の玄関

●福岡大名ガーデンシティ・タワー

動線計画

用途に分けて計28台のエレベーターを設置。オフィスは低階層と高階層に分けることでスムーズな動線を確保した。



●福岡大名ガーデンシティ・テラス

レジデンス用駐車場

コミュニケーション棟

オフィス・ホテル棟

イベントホール

立体駐車場棟

コミュニケーション棟

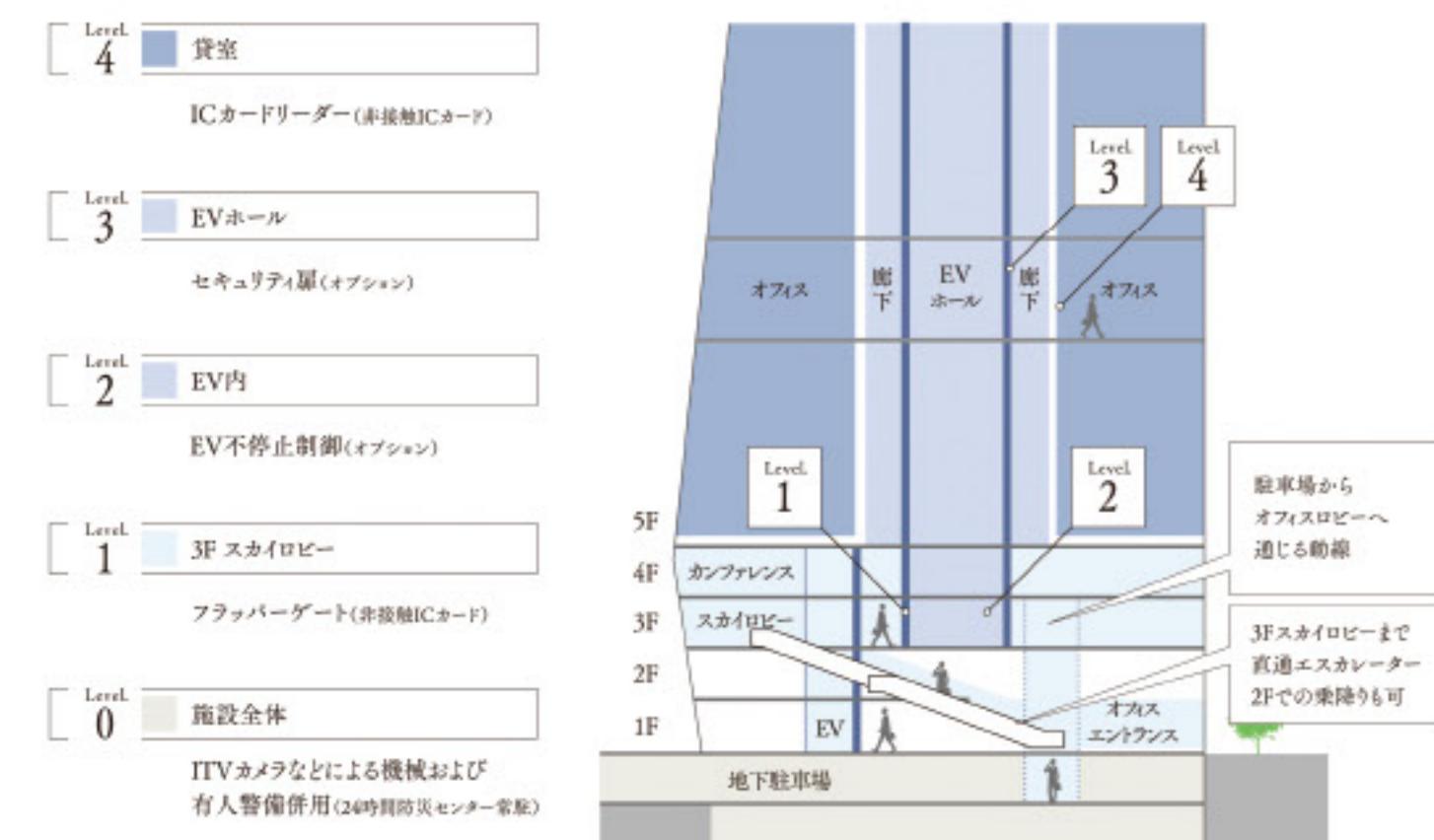
オフィス・ホテル棟

####

ワンフロア専有面積約2,500m²のハイグレードオフィス



セキュリティゲートを通過するとIDと連動されたエレベーターが作動し、自動運転で1階に下りてくる先行予約システムも採用している。



3・4Fにある最大収容人数430人のカンファレンス「DAIMYO CONFERENCE」



3・4階には最大収容人数430人を収容できるカンファレンス「DAIMYO CONFERENCE」を設置。大名カンファレンスは国際会議やエグゼクティブ会議、セミナーなど多様なイベントが開催できる。特徴は「和と洋のテイストを掛け合わせたオリエンタルなインテリアデザイン」を基調とし、2フロア吹き抜けで解放感あふれるエントランスロビーを併設している点である。

建物概要

- 所在地／福岡市中央区大名2丁目165-1の一部、165-2、165-3
- 事業主／大名プロジェクト特定目的会社(積水ハウス株)、西日本鉄道株、西部瓦斯株、株式会社西日本新聞社、福岡商事株
- 設計監理／久米設計・醸建築設計共同企業体
- デザイン監修／PDP London Architects
- 施工／清水・鴻池・積和建設九州特定建設工事共同企業体
- 竣工年月／2023年3月

- 階数／福岡大名ガーデンシティ・タワー:S造(CFT)制振構造、地下1階地上25階
- 福岡大名ガーデンシティ・テラス:S造(CFT)地下1階地上11階建
- 建物高さ／オフィス・ホテル棟地上約110.9メートル
- コミュニティ棟地上約46.2メートル
- 敷地面積／約10,000m²
- 建築面積／約5,470m²
- 延床面積／約91,400m²
- ワンフロア貸床面積／約2,500m²



注目建築

Vol.3

太宰府天満宮「仮殿」



菅原道真公の御墓所の上に造営された「御本殿」令和の大改修開始

「仮殿」は“文化芸術発信地、太宰府”に相応しい未来への継承を表現
デザイン・設計は藤本壯介建築設計事務所

菅原道真公が薨去(こうきょ)されてから、令和9年に1125年の節目を迎える太宰府天満宮。学問・文化芸術・至誠の神様として広く仰がれてきた。道真公とのご縁が深い数字が25ということから、25年毎に式年大祭が執り行われてきた。そして、先月令和5年5月より約3年間をかけ、124年ぶりに重要文化財「御本殿」の大改修が行われている。期間限定でご参拝者を迎える「仮殿」が「御本殿」の目の前に完成した。

その斬新な姿に驚く人も多い「仮殿」。デザイン・設計は、国内外で活躍する建築家であり、大阪・関西万博の会場デザインプロデューサーでもある藤本壯介氏率いる藤本壯介建築設計事務所が手がけた。太宰府天満宮周辺に広がる、豊かな自然が御本殿前に飛翔し、仮殿としての佇まいを作り上げることをコンセプトに、屋根に青々とした森が現れる新しくも穏やかで美しい「仮殿」が誕生したのだ。



「仮殿」完成への想い

藤本氏は「道真公のための森のような屋根を通じて、飛梅伝説や歴史と繋がったり、美しく豊かな自然を感じたり、ここに訪れる多くの人々の記憶に強く残るような、風景になってほしい」と語っている。

第40代宮司である西高辻信宏氏は「現代の素晴らしい才能が集結し、進取の精神をもって時代の最先端を歩まれた天神さまのお住まいに相応しい「仮殿」が完成して嬉しい」と語っている。

建物概要

- 所在地／福岡県太宰府市宰府4丁目7番1号の一部
- 設計監理／藤本壯介建築設計事務所
- 竣工年月／令和5年5月11日
- 建築面積／250.33m²
- 事業主／太宰府天満宮
- 施工／株式会社竹中工務店
- 敷地面積／532.5m²
- 延床面積／197.26m²

2023年度「新入社員研修」開催

10日・11日参加者



一般社団法人福岡県建設業協会主催の2023年度「新入社員研修」が、3年振りに完全対面方式で開催されました。4月10・11日、17・18日に2回に分けた研修には、総勢27社、74名が参加。はじめは緊張した面持ちでしたが、研修が終わる頃には笑顔が見られ、すっかり打ち解けていたようです。

研修の内容は、1日目に社会人としての心構えやビジネスマナー、

そして報連相の重要性等、コミュニケーションについて学びました。さらに初めての名刺交換では、上になつたり下になつたりする名刺に戸惑いながら、社会人のルールに触れ気を引き締めていた様子でした。

2日目には、建設業界の役割や「現在の建設業は好景気」等の動向に安心したのも束の間、人材不足が課題だと知り、若手と



身だしなみ、挨拶時の態度、名刺交換時の所作など、自分の行動の一つひとつが上司や取引先、お客様にとっての判断基準になると気づきました。責任を持って最後まで行う為に、報連相を意識して他者と関わっていきたい。

ビジネスマナーの基本といえる挨拶を大切にします。業界が天候などの影響を大きく受けるため、常に先のことを予測し考えて行動します。1級施工管理技士の資格をとり、現場監督として大規模な建物の建設に関わりたい。

建設業の好景気や人手不足など業界のことを知ることができて良かったです。社会人になったばかりで仕事のやり方など分かっていないので、早く仕事を覚えたいです。自分の仕事を完璧にこなし、他部門の仕事にもチャレンジします。

ビジネスマナーは反復して学ばないといけないほど重要な事!自分から行動、常に「かもしれない」行動を取り対応する!経験を通して臨機応変に対応できる人になる!近年、建設業界への投資額がかなりの速度で上がっていると知り、それだけ日本にとっても、必要不可欠であるとよくわかりました。仕事では、安全第一を掲げ、細かな所を見て見ぬふりをせず、言葉をかけるよう、対応していきます。

株式会社アルシスホーム
小川 ひかりさん
(北九州市立大学 地域創生学群卒)

高藤建設株式会社
秋永 愛実さん
(西日本工業大学 建築学科卒)

株式会社百田工務店
中村 太恒さん
(麻生建設＆デザイン専門学校 建築CAD科卒)

飯田建設株式会社
高牟禮 大岳さん
(国土建設専門学校 都市環境設計科卒)

建設業の舞台へ躍り出る74名!成長と変革の4日間!

会場:西鉄イン福岡(福岡市中央区天神)

17日・18日参加者



講師 齋藤 昭彦氏

株式会社日本コンサルタントグループ

同じ福岡県を引っ張っていく仲間として、つながりを大切にしながら、目標と挑戦意欲を持って、一歩ずつ成長していただけます。

なる自分たちの責任の重さを感じていたようです。

そして最後に班対抗の「施工ゲーム」を体験。限られた時間、限られた情報という条件下で、適切な計画と施工の速さ、正確さを競いました。各班、会社の垣根を越えて、チーム一丸となってチャレンジした結果、前半グループではH班が80点、後半グループではG班が91点という高得点をたたき出し、それぞれ優勝。積算

の難しさ、専門的な知識の必要性を体感した時間になりました。

福岡県の建設業で、5年後、10年後も活躍したいという大きな希望を抱き、研修は終了しました。



左から内野さん、石橋 著さん、石橋 貴志さん

施工管理のグループワークでは、受注から建物の完成までの流れを学び、コミュニケーションと主体性・協調性の大切さがわかりました。将来は都市開発などに関わる仕事をして、生まれ育った福岡に恩返ししたいです。

研修を受けて、社会人としての自覚がより増しました。具体的には、品質、原価、工期、安全、環境などを厳守しながら、人々の役に立ち、信頼して任せてもらえるような現場監督になり、常に目標を意識して業務に励みます。

施工ゲームでは、それぞれの役割を学ぶことができ、連携して仕事を進めることの大切さや、知識や経験など幅広い力が求められると言づきました。現場の協力会社さんからも頼りにされるように、コミュニケーションを大切にしています。

現場作業のルールや知識を習得し、労働災害が起きない安全管理を行いたい。多くの経験を積み、難しい現場も「君に任せよう」と言われるよう、また、グッドデザイン賞や雑誌で紹介される等、記録にも記憶にも残る建物を残したい。

株式会社サンコービルド
佐野 友哉さん
(久留米工業大学卒)

上村建設株式会社
内野 政宗さん
(久留米工業大学 國際環境工学部・建築デザイン学科)

株式会社内藤工務店
石橋 貴志さん
(福岡大学 工学部建築学科)

2023年度定時総会開催

私たち建設業は、人々の安心安全な生活基盤の整備を担う産業であり、「地域の守り手」として重要な社会的役割を担っています。本会の2023年度の事業活動は、公共工事の円滑な施工への取組の強化、働き方改革の推進、事業を継続していくための経営基盤の強化など、魅力ある建設産業の再構築と地場建設業の発展に向け、行政及び関係団体と連携を図り、以下の計画に基づき推進することとしています。



事業計画
骨子

- 1.社会資本整備の計画的推進のための安定的な公共事業予算の確保と災害に強い国土づくり
- 2.地域社会を支える建設業の経営基盤の強化と健全な発展への対応
- 3.建設業の担い手確保と労働災害防止対策の推進
- 4.建設業における社会的責任への対応
- 5.戦略的な広報活動の推進



～豪雨対策を進めましょう！当協会では、災害対策用ブルーシート、土のうを備えています！～

福岡県建設業協会会員企業（表紙ロゴマーク参照）は、災害発生に対して備品を備えています。
※(一社)福岡県建設業協会と福岡県建設業協同組合、(一社)福岡県木造住宅協会で構成する福岡県建築物災害対策協議会は、福岡県と災害への緊急対応を迅速かつ適正に行うための協定を締結しています。

おめでとうございます！会員企業受賞

第9回福岡県木造・木質化建築賞

●優秀賞【木質化の部】

●建築物名称 幼保連携認定こども園
若草幼稚園（あかりえ・みどりえ）

●所在地 大牟田市

●建築主 学校法人 泉ヶ丘学園

●設計者 内記建築設計室

●建物用途 幼保連携認定こども園

木造（在来工法）

（あかりえ）地上2階

（みどりえ）地上1階

（あかりえ）1,426.85m²

（みどりえ）323.79m²

●構造・規模

●延床面積

●施工者 株式会社今村組

評価ポイント

子どもたちの記憶に残る色彩と、温かみのある内装木質化が印象的な園舎である点



写真撮影/タナカ写真スタジオ 田中 太

福岡県は県産木材の需要拡大を図るために、モデル的な木造・木質化建築物を表彰しています。第9回となる今回は、会員企業2社が施工した建築物が「木質化の部・優秀賞」「奨励賞」を受賞しました。

大牟田市の小高い丘の頂に建設された「幼保連携認定こども園若草幼稚園」は、2つの木造園舎（あかりえ・みどりえ）と屋根付園庭（ソラシドーム）で構成されています。また、敷地の最大4.5mある高低差を活かす設計とすることで、ロフトや絵本コーナーなどの空間を生み出し、さらに住宅地に溶け込むコンパクトな外観も実現している。内装は、木質化を徹底し、こども達にとって、木の香りのする温かい雰囲気の園舎づくりを目指した。

園内各所に設置された「ふるさと大牟田」を描いた壁画には、こども達にふるさとを大切に想う心を育んでほしいという願いが込められている。

●奨励賞

●建築物名称 朝倉森林組合本所事務所

●所在地 朝倉市

●建築主 朝倉森林組合

●設計者 株式会社ヒグチ設計

●建物用途 事務所

●構造・規模 木造・地上1階

●延床面積 611.08m²

●施工者 黒田建設株式会社

評価ポイント

森や山をイメージできる木質ファサード（外観）をもつ魅力的な事務所である点



「森や木を感じる建物」をコンセプトとし、また永く利用される建物とする為にメンテナンス性を考慮し、ランニングコストを抑えた管理しやすい建物を目指した。

県産木材の利用促進及び地域の製材所の参画に配慮し、使用する木材については極力集成材の使用を抑え一般流通材の規格品の使用に努めた。会議室の7.8mスパンの部分には木造トラス構造を採用し、広がりのある空間と木の力強さを演出。

仕上げ材の一部には「東京オリンピック・パラリンピック」選手村ビレッジプラザで使用された木材を東峰村より譲り受け、レガシーとして活用している。

オンライン講習 受講日変更可能
好評開催中！ 講習料の支払 手数料無料

K 建設業振興基金
FAX or インターネットからの動画申込
<https://www.fcip-ko.jp/>
講習受付センター TEL:0570-081-812 FAX:0570-081-822

なんでも経審Plusは、JCIP 対応

(建設業許可・経営事項審査電子申請システム)

許可・経審の「電子申請」も「なんでも経審Plus」

建設業許可・経営事項審査電子申請システム (JCIP)
許可・経審データ出力
JCIPから取り出した前回データも取り込めます!
経営状況分析申請用データも作成可能。そのまま電子申請するとお得に!
「なんでも経審Plus」を使うと…

- JCIPへの申請データを作成できます！ *JCIP(建設業許可・経営事項審査電子申請システム)
- JCIPから取り出した前回データも取り込めます！
- 経営状況分析申請用データも作成可能。そのまま電子申請するとお得に!

詳しくは <http://www.clip.or.jp/> または CIIC なんでも経審Plus

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 九州事務所
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番18号 福岡建設会館6階
お問い合わせ】 TEL 092-483-2841 FAX 092-483-2846

※一部の行政庁では、令和5年1月からの電子申請受付はできませんので注意ください。

導入・操作がイメージしやすい 「かんたんスタートガイド」公開中!!

詳しい情報は、[建設業許可・経営事項審査電子申請システム \(JCIP\)](#) をご覧ください。

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました。

将来に笑顔を。
現場に信頼を。

未来に安心を

建退共

事業主が変わっても
退職金で支給!
建退共加入の会員で
退職金がもらえる!
建退共加入の会員で
退職金がもらえる!
建退共加入の会員で
退職金がもらえる!

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です。

国がつくった退職金制度なので安心かつ確実！ 制度説明動画記録中

建設業退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL03-6731-2866

スマートフォン
QRコード

けんたいきょう

知つてほしい、より安心の制度。

掛金負担が軽減
契約建退共制度がスタート
(令和4年4月より)

手厚い補償
保険金区分合計最高5,000万円

労働者と企業のリスクをカバー

制度が変わって、安心充実。

すぐ、ご加入を！

法定外労災補償制度

建設共済保険

建設共済保険の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業
労働安全衛生推進事業

被災者（死亡および障害・傷病2級以上）の子供に対して、要介護者・要医療者および小学生から大学までの在学期間中、退職不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

被災者（死亡および障害・傷病2級以上）の子供に対して、要介護者・要医療者および小学生から大学までの在学期間中、退職不要の奨学金を継続して給付。

建設共済保険

建設共済保険 検索
<https://www.kyousaidan.or.jp/>

HITO MACHI FUKUOKA
School watch



福岡県立三池工業高等学校 社会基盤系 土木科

世界文化遺産で測量実習! 地域連携で培われる土木のチカラ

三池工業高校は福岡県大牟田市に位置する歴史ある工業系の高校です。大牟田市といえば「世界文化遺産」が残る街。1908年(明治41年)、三池炭鉱と周辺の工場を実習場として日本の工業界の「志士」を育成する目的で三井家により創設されました。(当初は三井工業学校)。長年、歴史を支える人材を輩出してきた学校です。

現在、学科は3系5学科で、建設専門は「社会基盤系」に属し、2年生に進級する際に「土木科」か「工業化学科」を選択するようになっています。各学科には豊富な実習施設と実習の機会があります。生徒たちは実践的な技術と知識を身に付け、教師陣のサポートを受けながら将来の技術者としての道を歩んでいます。



役割分担しながら12ポイントを測定



モニターを見る目は真剣



記録は正確に



三池炭鉱でのドローン測量実習

この日は延命公園で4つのグループに分かれ、測量実習を行いました。測定係は最新の測量機で測った数値を読み上げ、メモ係は測定値を聞きもらさないようにと、皆で連携を図りながら実習をこなします。この実習が終わると、データ化し、測量結果を見える化していくのだとか。

この学校では、世界文化遺産である「三池炭鉱」で、ドローン撮影を駆使した測量実習など、通常ではできない現場での体験も積極的に行うなど、地域や産業界との連携も盛んで、将来のキャリア形成につながる有効で強力な基盤を提供しています。卒業後は建設、鉄道や電力などの地元企業や大手の民間企業、行政等で活躍しているそうです。



三池炭鉱での測量の前に体育館で実習



測定データはすぐにパソコン上に反映される



急な土手での測量にチャレンジ



初めて見るドローン飛行は圧巻の連続

My Dream 建設業界で活躍したいと思った理由・将来の夢とは

私は、建設を通じて「世の中をもっと便利にしたい」「質の高い建物を造ることで、多くの人の暮らしに安心をもたらすことができる」と思っています。

今チャレンジしたいことがあります。それは、土木系工作部の活動で、近日開催される測量の大会に挑むこと。そこで悔いのない成果を發揮できるように、残りの期間、全力で取り組んでいきたいと思っています。



社会基盤系 土木科
2学年
岸川 心美さん

私が建設業界で活躍したいと思ったきっかけは父でした。父が災害の時に活躍する姿を見て、カッコいい、自分もそなりたいと思いました。私の将来の夢は現場監督になること。大規模な現場が、監督の指示ひとつで動いていくように、責任の重い仕事ですが、その夢を叶えたいと思っています。そして、資格があればあるほどできる仕事の幅も増えるので、実習も頑張りたいと思っています。



社会基盤系 土木科
2学年
柿原 成璃さん

私が建設業界で活躍したいと思ったのは中学の時でした。なんとなく漠然と考えていましたが、3年時に参加した三池工業の体験入学で、「家を建てる以前に地盤を造ることが最も大切であり、その仕事は一生くならない職業だ」と聞き、自分はその道を進もうと決心しました。まだ夢は見つかっていませんが、生活の基盤になる職業に就きたいです。三池工業は明るく安心して学べる学校で最高です。



社会基盤系 土木科
2学年
近藤 仁稀さん

DATA 福岡県立三池工業高等学校

〒836-8577 福岡県大牟田市上官町4丁目77

TEL.0944-53-3036



一般社団法人 福岡県建設業協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18

TEL.092-477-6731

<http://www.fukukenkyo.org>

(一社)福岡県建設業協会は、福岡県の建設業のための公益を目的とした団体です。

会員情報は
こちら

